

里海創生活動の実践事例

新たに里海創生活動に着手する地域、既存の里海創生活動を強化・拡充する地域等の参考とするために、全国の里海創生活動の実践事例を収集・整理しました。

事例は、社団法人瀬戸内海環境保全協会がアンケート調査(平成 22 年度、都道府県、政令指定都市、漁業関係機関を対象)やインターネット等による独自調査を行い、調査結果から他地域の参考となるものを中心に 62 事例を抽出したものです。

なお、里海の類型区分は環境省の独自の区分によるものであり、実際の活動の趣旨とは異なる可能性があります。

No.	地域	活動名称
1	青森県	地引網体験
2	宮城県	こーぷの森貞任山(さだとうやま)植樹会
3	宮城県	NPO法人 森は海の恋人
4	宮城県	アカモクを利用した水質改善
5	福島県	松川浦フィールドにおける課題研究
6	茨城県	漁民の森づくり事業
7	千葉県	千葉県三番瀬再生計画
8	千葉県	里海づくりの楽校
9	東京都	芝浦アイランド生き物の棲み処づくりプロジェクト
10	神奈川県	葉山地先におけるアマモ場再生活動
11	神奈川県	追浜に浜を取り戻す活動
12	神奈川県	多摩川エコミュージアム推進事業
13	神奈川県	水辺の楽校
14	神奈川県	横浜市沿岸域の海辺の自然再生と新たな街づくり事業 <モデル事業>
15	新潟県	漁民の森づくり
16	石川県	クリーン・ビーチいしかわ
17	石川県	七尾湾里海創生プロジェクト <モデル事業>
18	福井県	アマモマーメイドプロジェクト
19	福井県	市民の漁業活動参加
20	長野県	NPO法人 水辺環境保全研究会
21	静岡県	しずおか子ども環境サミット
22	静岡県	環境・生態系保全活動支援事業
23	静岡県	NPO法人 はまなこ里海の会
24	愛知県	三河湾里海再生プロジェクト
25	愛知県	アマモ場の再生活動
26	愛知県	海域環境創造事業(シーブルー事業)
27	愛知県	藤前干潟普及啓発イベント・環境学習の実施
28	愛知県	伊勢・三河湾流域ネットワーク
29	三重県	高松干潟を守ろう会
30	三重県	新雲出川物語推進委員会
31	三重県	一般社団法人 海っ子の森
32	三重県	英虞湾生き物調査隊事業 <モデル事業>
33	三重県	熊野灘・国崎(くざき)の奉納神事
34	三重県	英虞湾の環境再生へ向けた住民参加型の干潟再生体制の構築
35	京都府	阿蘇海環境づくり協働事業 <モデル事業>

No.	地域	活動名称
36	京都府	網野町漁協の一日漁師
37	大阪府	アドプト・シーサイド・プログラム
38	大阪府	関西国際空港の護岸を用いた藻場造成
39	兵庫県	埋立地における環境創造型護岸の採用及び人工海水池の整備
40	兵庫県	赤穂海岸及び相生湾における自然再生を中心とした里海づくり事業 <モデル事業>
41	兵庫県	漁業者の森づくり
42	兵庫県	”鎮守の海”としての生島周辺海域
43	和歌山県	和歌山まるごと環境教科書
44	岡山県	海ゴミから流域を考える「世界の宝石—瀬戸内海」を磨く
45	広島県	広島湾・厳島神社の禁漁区
46	山口県	やまぐちの豊かな流域づくり構想(樺野川モデル)
47	徳島県	森づくり活動及び海と山の連携事業
48	愛媛県	離島漁業再生支援交付金
49	高知県	柏島周辺における啓蒙啓発・海洋資源活用の振興等の活動
50	福岡県	NPO法人 有明会
51	福岡県	豊かな玄海づくり
52	福岡県	ムラサキイガイを使った洞海湾の環境修復
53	佐賀県	有明海・山から海まで流域一体里海づくりモデル事業 <モデル事業>
54	佐賀県	鹿島ガタリンピックと干潟体験
55	長崎県	NPO法人 コミュニティ時津
56	長崎県	地域連携による環境学習のあり方検討事業 <モデル事業>
57	熊本県	やつしろ里海ネット
58	大分県	豊前海・中津干潟のササヒビを活かした里海づくり <モデル事業>
59	大分県	伝統的漁獲規制等による資源管理
60	宮崎県	漁業者による藻場造成
61	鹿児島県	水質保全及び生活排水対策に係る実践活動
62	沖縄県	モズク養殖とサンゴ礁保全

No. 1	地引網体験（青森県） 【類型区分:体験型、漁村型】
活動内容	<p>平内町漁業協同組合 茂浦支所では、体験教育・福祉・漁業振興の視点から、当該地域の海の魅力を多面的に伝えていく総合的な学習の場、地域交流の場を利用して、地域の小学校・福祉施設の子供たちに地引き網を体験してもらっている。</p> <p>地引き網体験を行うことにより、子供たちが海・漁業に関心を持つようになった。</p>
参考 URL	


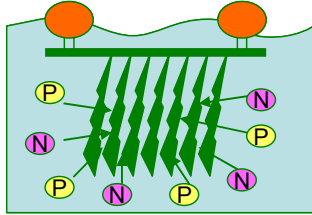



No. 2	こーぷの森貞任山(さだとうやま)植樹会（宮城県） 【類型区分:流域一体型】
活動内容	<p>みやぎ生協が中心となって、南三陸町、宮城県漁連と一緒に、カキの産地である志津川湾の上流部にある貞任山にヤマザクラ・クリ・コナラ・イタヤカエデなど多種類の広葉樹を植林している。</p> <p>植林などの費用は、メンバー（組合員）からの募金や店頭回収したアルミ缶の売却益、レジ袋有料化店舗でのレジ袋販売収益金などを積み立てた「COOP緑の基金」から拠出されている。</p>
参考 URL	http://www2.miyagi.coop/about/kankyou/







No. 3	NPO 法人 森は海の恋人（宮城県） 【類型区分:流域一体型】
活動内容	<p>昭和 40～50 年代の環境悪化で発生した赤潮に染ったカキが廃棄処分された事態から、気仙沼湾に流れ込む河川上流の山に落葉広葉樹の森を作ることが根本的な改善だとして「森は海の恋人運動」を提唱し、植樹活動を開始した。小中学生対象の環境体験学習も実施。森は海の恋人運動は、小・中学校の教科書でも取り上げられ、全国に広がっている。</p>
考 URL	http://www.mori-umi.org/index.html





No. 4	アカモクを利用した水質改善（宮城県） 【類型区分：漁村型】
活動内容	<p>宮城県では富栄養化が進んだ松島湾の自然浄化機能を高めるため、人工的にアカモクの藻場を造成し、あわせてアカモクの有用性を説くセミナー、増養殖手法の開発・普及、アカモク藻場の生態学的調査とその結果公開、環境学習等を実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>栽培し NP を取り込む</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>NP 取り込みの模式図</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>天ぷら調理でアカモクの食品価値を PR</p> </div> </div>
参考 URL	http://www.pref.miyagi.jp/kankyo-t/akamoku_1.htm

No. 5	松川浦フィールドにおける課題研究（福島県） 【類型区分：体験型】
活動内容	<p>福島県立相馬高等学校が、文部科学省事業「スーパーサイエンスハイスクール」指定による研究開発事業により実施した（同校理数科生徒）。</p> <p>県内唯一の潟湖であり豊かな生物相を有する「松川浦」を含む相馬地域を活動フィールドとしながら、生徒の問題解決能力を高め、多面的な見方が出来る能力の育成を図る教育課程の研究開発を目標としている。</p> <p>また、各研究班が様々な分野に関連する研究を行うことで、地域の姿が浮かび上がり、また、地域の方々との交流を通じて地域を大切に思う倫理観や地域で行動を起こそうとする社会性が生まれ、生徒の研究が地域へ波及することを期待する。</p>
参考 URL	http://www.soma-h.fks.ed.jp/


No. 6	漁民の森づくり事業（茨城県） 【類型区分：流域一体型】
活動内容	<p>茨城県漁業士会では、豊かな漁場を維持・確保するためには、漁業者自らが地域住民と交流し、市民の理解と協力を得て、森・川・海を通じた幅広い環境保全の取り組みを推進していく必要があるという認識に立ち、市民ボランティア組織「いばらき森林クラブ」と協働で森づくり事業を実施した。</p> <p>漁業士会と市民ボランティア団体が協働で森づくり事業を実施することで、地域住民との交流が深まり、漁業や自然環境に対する一般市民の理解促進や、水産業のPRにつながっていくものと考えられる。</p> <p>また、地元で水揚げされる魚介類を試食してもらうことで、地産地消の推進にも役立つことが期待される。</p> <div style="text-align: right;">  </div>
参考 URL	http://www.fish-jfrca.jp/pdf/suisan-h17/08_01.pdf


No. 7	千葉県三番瀬再生計画（千葉県） 【類型区分：都市型】
活動内容	<p>千葉県では三番瀬の自然環境の再生と地域住民が親しめる海の再生を目指して、地域の意見を伺いつつ「千葉県三番瀬再生計画」を定め、自然再生のため様々な試験・検討、下水・産業排水対策、環境学習・イベントの開催、自然環境調査、そのデータベースの構築等の取組を実施している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>引き潮の風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>マテガイ採取の風景</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>底生生物調査風景</p> </div> </div>
参考 URL	http://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/keikaku/sougoukikaku/sanbanse/index.html


No. 8	里海づくりの楽校（千葉県） 【類型区分：体験型】
活動内容	<p>NPO法人盤州里海の会では、市民に対して盤洲干潟の保全・海産物活用・社会教育を主な事業とし、高齢化社会において老齢化した漁師の技術・経験の継承を行いながら、地元漁業者へ干潟に対する保全広報、市民に漁業現状の理解を求め、広く公益に貢献する活動に取り組んでいる。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>逆さにした竹林の魚礁</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>海苔作り体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>タモ網で生物観察</p> </div> </div>
参考 URL	http://www.pref.chiba.lg.jp/seisaku/chiikizukuri/hiroba/hiroba177.html


No. 9	芝浦アイランド生き物の棲み処づくりプロジェクト（東京都） 【類型区分：都市型】
活動内容	<p>芝浦運河の老朽化した直立護岸を改修し、事業者及び地域住民からの要望を受けて、生物生息に配慮したテラス型護岸が東京都により造成された。</p> <p>テラス護岸には生物が生息しやすい潮溜まりが造成され、ここをフィールドとして、国土技術政策総合研究所、東京都港湾局、港区芝浦港南地区総合支所、NPO 法人海塾等との協働により、生物生息調査、ハゼ釣り調査、干潟勉強会などを実施している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
参考 URL	http://www.y.sk.nilim.go.jp/kakubu/engan/kaiyou/kaiyou.htm


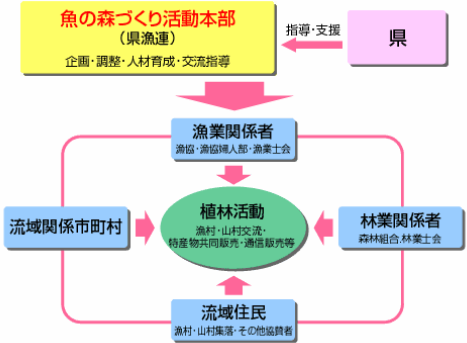
No. 10	葉山地先におけるアマモ場再生活動（神奈川県） 【類型区分:体験型】
活動内容	<p>葉山町漁業協同組合、鹿島建設株式会社技術研究所、NPO 法人スクーパミュージアム、葉山町一色小学校からなる葉山アマモ協議会を結成し、三浦郡葉山町地先におけるアマモ場等の環境生態系の保全・再生に努め、漁村環境の良好な保全と資質向上を図る。</p> <p>漁業者や町民参加によるアマモ種子の採取、地元小学校における種の選別、苗の生産、アマモ苗の移植と移植後のモニタリングなどの活動を実施している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>
参考 URL	http://www.hayama-diving.com/csr/index02.html

No. 11	追浜に浜を取り戻す活動（神奈川県） 【類型区分:体験型】
活動内容	<p>横須賀市で環境活動を行っているいくつかのグループのメンバーが集まった「よこすか海の市民会議」が中心になり、市民の声に基づき、横須賀の海や横須賀港に関する意見を提起するとともに市民協働による環境配慮事業等に取り組む。</p> <p>平成 16 年から毎年、横須賀市深浦地先(追浜地区に隣接)においてアマモ場の再生に取り組んでいる。モニタリング調査によると再生アマモ場ではアオリイカの卵やメバルの幼魚が確認されており、魚介類の幼稚仔保育場として利用され、豊かな生態系が形成されている。各種行事に年間 100 名程度の一般市民が参加し、東京湾の海域環境の実態と回復の意義について理解してもらった。</p> 
参考 URL	http://www.geocities.jp/nereis_st/03.html

No. 12	多摩川エコミュージアム推進事業（神奈川県） 【類型区分:体験型】
活動内容	<p>多摩川を基軸とし、多様な自然環境や歴史文化について情報発信を行うとともに、環境学習を通して、多くの子供たちに多様な自然環境について学んでもらうことを目的としている。</p> <p>平成 21 年度は、小中学校を中心とした環境学習を二ヶ領せせらぎ館(川崎市、NPO 多摩川エコミュージアムとの共同運営)において述べ 3,004 名に実施。大師河原水防センターにおいては、干潟観察会等を述べ 1,042 名に実施した。</p> <p>多摩川の持つ多様な自然環境を多くの子供たちに学んでもらうことにより、多様な自然環境(上中流域、汽水域、干潟等)について理解を深めてもらえることが出来た。</p> 
参考 URL	http://www.city.kawasaki.jp/53/53tamasu/home/tamagawa/tama-index.htm

No. 13	水辺の楽校（神奈川県） 【類型区分：体験型】
活動内容	<p>自然豊かな多摩川を取り戻し、子供達の学び・遊び場として活用しようと、川という自然の教育力に着目して開かれた楽校。多摩川大好きな地域の大人たちが、行政と協働で運営している。</p> <p>多摩川の源流から河口、海までの活動を通じ、多摩川の持つ多様な自然環境についての理解や源流と海、それをつなぐ川との関連について理解を深めることが出来た。</p> 
参考 URL	http://www.seseragikan.com/mizube/index.html

No. 14	横浜市沿岸域の海辺の自然再生と新たな街づくり事業 <モデル事業>（神奈川県）【類型区分：都市型】
活動内容	<p>横浜市では、金沢区海の公園前面海域をフィールドとして、地元活動団体等を中心にアマモ場の再生活動等を通じ、「里海づくり」のための組織化、ネットワーク化を進めてきており、この活動の継続および海の環境改善活動の普及啓発を図るため、関係機関によるアマモ場検討会を開催して事業内容を調整するとともに、事業推進に必要な現地調査(水質・底質)を実施している。</p> 
参考 URL	http://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/07_yoko.html

No. 15	漁民の森づくり（新潟県） 【類型区分：流域一体型】
活動内容	<p>「浜は必ずよみがえる」という信念のもと、新潟県漁業協同組合連合会が活動本部となり、漁業関係者、林業関係者、流域住民、流域関係市町村が協働した森づくりを行っている。</p> <p>植林活動の他、サケの塩引き教室、サケ親魚の放流等の活動を実施している。</p>  
参考 URL	http://www.van-rai.net/nigyoren/mori.htm

No. 16	<p>クリーン・ビーチいしかわ（石川県）</p> <p>【類型区分:複合型】</p>
活動内容	<p>石川の海岸線 583 キロをきれいにする海岸愛護運動「クリーン・ビーチいしかわ」は、身近な環境ボランティアとして 1995 年から展開された。</p> <p>美しい石川の渚を取り戻し、白砂青松をよみがえらせる基盤づくり、野鳥や海の生き物を残酷な被害から守る海の環境・ルールづくり、沿岸漁業資源の回復に良好な豊かな海づくりが目標。</p> <p>エフエム石川の呼びかけで、海に面した 8 市 17 町でスタートしたが、自然生態系を構成する山～川～海をつなぐ全県一斉の運動が必要、との声に推されて、1996 年からは 41 全市町村参加の「県民運動」になった。</p>
参考 URL	<p>http://www.cleanbeachishikawa.com/</p>




No. 17	<p>七尾湾里海創生プロジェクト <モデル事業>（石川県）</p> <p>【類型区分:体験型、漁村型】</p>
活動内容	<p>七尾湾とその周辺海域において、地域住民の里海に対する意識の向上を図り、七尾湾を持続的に利用していくためのネットワークの構築をめざして、必要となる現地調査及びワークショップや体験学習プログラムなどのモデル事業を実施する。</p> <p>行政、大学、研究機関、地元事業者や漁業者が参画する運営委員会を設置し、事業を実施することで、七尾湾に関わる多様な主体が対話するきっかけとなった。ワークショップにより七尾湾に関する情報を共有するために、写真展の実施、『七尾湾里海マップ』の作成が行われ、里海創生活動の議論が深められた。さらに、住民意識調査の結果から里海の利用・管理体制の必要性について示唆された。</p> <p>「里海シンポジウム in 七尾湾」や体験学習会などにより、県民の間で「里海」に対する認知度は高まっていると思われる。</p>
参考 URL	<p>http://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/07_ishi.html</p>





No. 18	<p>アマモマーメイドプロジェクト（福井県）</p> <p>【類型区分:体験型】</p>
活動内容	<p>近年、福井県では海洋環境の変化から、漁獲量も減少し、また、沿岸部でも護岸工事などによりそれらを生活の場とする海洋生物の生態系も変化しつつある。そこで福井県立小浜水産高等学校ダイビングクラブ・アマモサポーターズ（地域住民団体）が中心となり、かつて湾内に群生していたアマモ（海草）場を再生する活動を始めた。アマモは、光合成による二酸化炭素の吸収、酸素の供給源やヘドロなどの底質の改善、さらには海洋生物の産卵場や稚魚の成育場所となる。このアマモを題材に①アマモの苗を育て海底に定植する活動 ②アマモを中心とした海洋環境に関する啓発活動 ③環境調査を含めた研究活動を行っている。</p>
参考 URL	<p>http://blue.ap.teacup.com/amamo/</p>



No. 19	市民の漁業活動参加（福井県） 【類型区分：漁村型】
活動内容	<p>福井県三国町雄島漁協米ヶ脇支所は、古くからこの地先漁場に人手をかけて、アワビ・サザエ・海藻・海草など魚介類の漁獲を得てきた。ところが近年、漁業従事者数の急減により、人手をかける作業に参加する漁民が減少し、漁場に十分な人手をかけることが不可能になり、その結果として漁場が荒廃し漁獲量も減少しつつある。</p> <p>漁業者の高齢化と後継者不足のための人手不足による漁場劣化は、漁業者だけでは解決できない問題なので、従来のような漁業権で守られた漁民だけの閉鎖的な漁場を考えるのではなく、市民も巻き込んだ漁場保全法を考える必要がある。そのひとつとして、雄島漁協では地先漁場の一部である米が脇海岸での海藻・海草・アワビ・サザエ・ウニの採取を、有料で市民に解放することを検討している。</p> <p>(参考資料：柳哲雄著、里海創生論、恒星社厚生閣)</p>
参考 URL	

No. 20	NPO法人 水辺環境保全研究会（長野県） 【類型区分：複合型】
活動内容	<p>この会は、主として河川・湖沼・池・海洋等における水質の保全を図り、水生生物や河川敷・湖沼敷・海洋海岸等に生息または 自生する動植物の生態環境を保護するため、水辺環境に関わる学術調査・研究を行い、専門知識及び技術の向上に努め、広く地域社会に普及啓発する事業を行い、もって水辺における生態系の自然的保全並びに公益の増進に寄与することを目的としている。</p> <p>主に、以下のような事業を行っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.水辺生物の生態に関する研究会・講習会並びに普及啓発 2.水辺生物の生態に関する学術調査及び研究 3.水辺生物の生態に関する事業 4.水辺環境整備、保全等問題に関する情報の提供 5.その他、貴重生物の移植(殖)などこの会の目的を達成するために必要な事業
参考 URL	<p>http://www.nagano-mizube.com/</p> 

No. 21	しずおか子ども環境サミット（静岡県） 【類型区分：複合型】
活動内容	<p>全国で唯一、水源から河口までを単一市内で完結している一級河川「安倍川」を通して、川上(山間地、森林)と川下(都市部)の連携を「子ども達」の視点から考え、「静岡子ども環境サミット」の提言として行政へ提案。行政が、提言のいくつかを具体化することにより、静岡の環境問題への取り組みとして全国へ情報発信している。</p> <p>平成 21 年度には、安倍川源流ハイク(ブナ原生林)～伏流水の井戸掘り体験～用宗漁港でのシラスについての学習～海岸林での砂浜や防波堤の学習～海岸清掃等の活動を実施した。</p>
参考 URL	<p>http://homepage2.nifty.com/shinrinjuku/CI10.htm</p>  




No. 22	環境・生態系保全活動支援事業（静岡県） 【類型区分：漁村型】
活動内容	<p>静岡県の榛南(はいなん)地区沿岸域はかつて、サガラム・カジメなど大型多年性のコンブ科海中林が繁茂していたが、磯焼けにより、海中林が消失した。</p> <p>そこで、吉田町、相良、地頭方、御前崎の4漁協は、平成8年に榛南(はいなん)地域磯焼け対策協議会を設立し、海中林再生に取り組んでいる。</p> <p>刺網による食害生物(アイゴ)の除去活動・藻場調査・普及啓発活動を実施しており、活動の結果、活動当初皆無だった藻場が、直近の調査で102haまで回復した。(平成22年現在)</p> <p>また、駆除されたアイゴは静岡県内の肥料会社に無料で引き取られ肥料などに加工されている。</p>
参考 URL	http://www.hitoumi.jp/ （全漁連HP）

No. 23	NPO法人 はまなこ里海の会（静岡県） 【類型区分：漁村型、体験型】
活動内容	<p>浜名湖や遠州灘地域は美しい自然景観に恵まれ、いにしえより「遠江(とのおとうみ)」と呼ばれ、景勝の地として全国に名を馳せてきた。しかし近年、自然環境の悪化、水産資源の減少などのため、郷土が誇る豊かだった水産物が減少してしまう懸念が出てきた。</p> <p>そこで現在、漁業者が水産資源を枯渇させないために、ヒラメやマダイ、クルマエビやガザミ、それにトラフグ等の稚魚放流、アサリの天敵ツメタガイの駆除などの水産資源の増殖・保全活動、自然環境保全の活動を行なっている。</p> <p>浜名漁協に所属する漁師や自然保護団体、観光業者等が中心になって平成19年にNPO法人として認証された。</p>
参考 URL	http://hamanako-satoumi.net/



No. 24	三河湾里海再生プロジェクト（愛知県） 【類型区分：都市型】
活動内容	<p>かつての「きれいな海」「豊かな海」の実現に向けて、里海を再生するための方策を検討し、事業を実現する「三河湾里海再生プログラム」を作成することを目的としている。</p> <p>愛知県環境部水地盤環境課、農林水産部水産課、建設部港湾課の3部局による部局横断的な特別チームにより、里海再生に向けて、シミュレーションにより解析することにより、より効果的な施策を効果的な場所を実施するシナリオについて検討を行い、「三河湾里海再生プログラム」を作成し、干潟・浅場造成事業の実施に結びつける。</p>
参考 URL	http://www.seisaku.nga.gr.jp/kohyo/kohyo_top.php?seq=2386&uri=%2Fsearch%2Fsearch.php%3Fken%3D23






No. 25	アマモ場の再生活動（愛知県） 【類型区分：漁村型】
活動内容	<p>漁獲資源を安定させるために、卵や幼稚仔魚の保護場所として非常に重要な役割を担っているアマモ場を再生することを目的とし、蒲郡市漁協青年部連絡協議会がアマモ種子を採集し、直播き及びゾステラマットによる播種を行っている。</p> <p>航路浚渫砂を使用した造成干潟に於いて、安定的なアマモ場が成育しつつある。このような場所では、種苗放流場所として活用されている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">良質な種を直播き試験 播種シートによるアマモ場造成試験 現在の状態</p>
参考 URL	http://gamagori-gyokyo.com/operation.html




No. 26	海域環境創造事業(シーブルー事業)（愛知県） 【類型区分：都市型、ミティゲーション型】
活動内容	<p>三河湾は湾口部が狭く、水深も比較的浅いため、閉鎖性の強い水域傾向にある。このため、高度経済成長とともに水質が急激に悪化し、赤潮や苦潮(青潮)の発生が頻発するようになった。</p> <p>そこで、平成3年度より蒲郡地区を中心にシーブルー事業を実施してきた。干潟・浅場の造成、覆砂、深堀箇所の解消、汚泥浚渫を行うことにより、水質や底質の改善を図っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参考 URL	http://www.pref.aichi.jp/0000012877.html

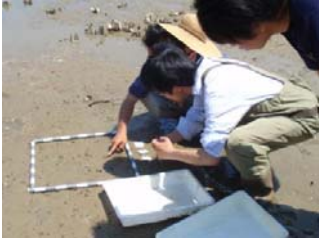
No. 27	藤前干潟普及啓発イベント・環境学習の実施（愛知県） 【類型区分：体験型】
活動内容	<p>市民や藤前干潟の周辺に住む住民に、藤前干潟にすむ生き物の存在を知ってもらうことで、藤前干潟が貴重な自然であることに気づき、今後の保全に活かしていくことを目的とし、藤前干潟での自然観察会やワークショップ・展示を実施している。</p> <p>普及啓発イベントは、年1回、環境省・愛知県・NPOで構成される実行委員会で実施し、環境学習は年に数回、NPO法人藤前干潟を守る会に企画・運営を委託して実施している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参考 URL	http://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000005878.html




No. 28	伊勢・三河湾流域ネットワーク（愛知県・三重県・岐阜県など） 【類型区分：流域一体型】
活動内容	<p>市民の視点を中心に伊勢・三河湾流域の「保全」と「再生」につながる提案とその活動推進を図り、豊かな海とその流域の「自然と暮らし」を市民の手に取り戻すことを目的としている。その提案活動を市民、行政、研究者、企業の協働事業化によって実現を目指している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>
参考 URL	http://www.isemikawa.net/

No. 29	高松干潟を守ろう会（三重県） 【類型区分：複合型】
活動内容	<p>高松干潟を守ろう会は 2001 年 4 月高松海岸にある干潟を次世代につなげる為に、自然大好き人間が集まって立ち上げられた。</p> <p>自然観察会を開催、地元小中学校との総合学習海岸清掃、他団体との交流会などの活動を行っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 干潟観察会 清掃活動 </div>
参考 URL	http://www.ccnetmie.ne.jp/takamatuhigata/

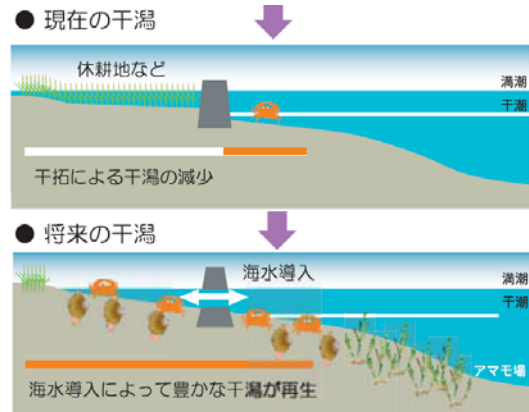
No. 30	新雲出川物語推進委員会（三重県） 【類型区分：複合型】
活動内容	<p>平成 20 年 9 月、津市を流れる雲出川流域で自然環境を保全するとともに山川海をつなぐネットワークを構築して、市民、事業者等が一体となって環境保全や地域振興を図ろうと設立した。</p> <p>構成団体は、山・川・海の組織、農事法人、市民団体、さらには沿海部の企業で、今後、ネットワーク参加者を広げ流域が一体となった取り組みを行う予定。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 森の下草狩り作業 地引き網体験 </div>
参考 URL	http://kumozugawa.net/index.html

No. 3 1	一般社団法人 海っ子の森（三重県） 【類型区分：複合型】
活動内容	<p>会員相互の協力、協調のもとに、海の森づくりをテーマに海の環境保護・再生等の活動を通じて、漁業及び漁業者への支援と、市民活動及び環境教育を行い地域の活性化を目指す。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p style="background-color: orange; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">海の植林活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="background-color: orange; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">地元漁師への技術支援</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="background-color: orange; color: white; border-radius: 10px; padding: 2px 5px;">環境教育</p> </div> </div>
参考 URL	http://www.umikko.jp/index.php

No. 3 2	英虞湾生き物調査隊事業 <モデル事業>（三重県） 【類型区分：体験型】
活動内容	<p>英虞湾の里海づくりを推進するために今後必要となる海岸生物データを市民参画により集積することを目的とし、学識者を交えた専門委員会を開催して生物調査の手法、調査方法の選定、住民参加手法等について検討し、市民参加による生物調査体制の構築を図る。</p> <p>英虞湾の沿岸生物のモニタリングデータを取得するため、日本国際湿地保全連合が提唱する調査手法についての研修を行い、今後地域において主体的に調査に取り組む調査指導員の養成を行った。</p> <p>今後一般市民の参画による沿岸生物の観察会を行うために、生物観察用ハンドブックを作成した。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>
参考 URL	http://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/07_mie.html

No. 3 3	熊野灘・国崎(くざき)の奉納神事（三重県） 【類型区分：鎮守の海型】
活動内容	<p>2 千年前、天照大神の安住地を求め国崎に来られた倭(やまと)姫命が、献上された鮑を大変好まれ、以来、加工した“熨斗鮑(のしあわび)”を伊勢神宮に奉納する儀式が 2 千年間継続。神事の鮑が国崎産に限定されている事もあり、毎年 8 月～12 月(産卵期)の禁漁期間設定やアクアラング無しで潜水採取する等の資源管理を実施している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;">  <p>熨斗鮑つくりの様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鮑を干している行程</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>漁に出る海女</p> </div> </div>
参考 URL	http://kuzaki.jp/

No. 34	英虞湾の環境再生に向けた住民参加型の干潟再生体制の構築（三重県） 【類型区分：漁村型】
活動内容	<p>英虞湾では、江戸時代以降 70%以上の干潟が、農地確保等により干拓され消失したが、現在その85%以上が休耕地となっている。湾奥部のかつて干潟であった場所をモデル海域として、海域とを分断している堤防の水門を開放し、海水を導入することで干潟の再生を行う。</p> <p>この活動は三重県水産研究所が中心に、英虞湾自然再生協議会と協力して実施する。</p>
参考 URL	http://www.mpstpc.pref.mie.jp/SUI/jissousien/jisso_kai.htm



No. 35	阿蘇海環境づくり協働事業 <モデル事業>（京都府） 【類型区分：流域一体型】
活動内容	<p>阿蘇海の環境改善については、地域住民、関係団体、行政が連携し一体となって総合的な取組を進める「阿蘇海環境づくり協働会議」を平成19年5月に設置し、地域住民、関係団体、行政の協働による阿蘇海の環境改善の取組のうち、特に阿蘇海の流入河川の水質改善への啓発活動を進めている。</p>
参考 URL	http://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/07_kyoto.html




海岸清掃



府立海洋高校の生徒によるヒトデ（アサリの敵）の除去



No. 36	網野町漁協の一日漁師（京都府） 【類型区分：体験型、漁村型】
活動内容	<p>都市の人々が海よりも山に親しみを覚える理由として、海には漁業権があり、漁業権を持たない都市の人々が海の生き物を勝手に捕ることができない、という事情があると考えられる。</p> <p>漁民の数は年々減少し、組合員数が減少した漁協では、漁業権の一部を都市の人々に解放し、都市の人々と漁民の間に新たな関係を模索する試みがある。</p> <p>網野町漁協では、7月～8月に、有料で一日漁師証を売り出し、一般市民に素潜り・徒手によるサザエ、アワビ、貝、海藻、海草漁を解禁する取り組みを行っている。1日漁師参加者は年々増加し、得られた収入は、漁協等に分配するほか、アワビ、サザエの放流基金としても活用される。</p> <p>（参考資料：柳哲雄著、里海創生論、恒星社厚生閣）</p>
参考 URL	

No. 37	アドプト・シーサイド・プログラム（大阪府） 【類型区分:複合型】
活動内容	<p>大阪府アドプト・シーサイド・プログラムは、港湾局が管理する海岸や港湾の一定区間を養子にみたて、住民が里親となって養子の面倒をみていく。つまり、住民の皆さんが海岸や港湾をわが子のように大切に思い美化活動を継続して実施していくというものである。</p> <p>アドプト・シーサイド・プログラムは、海岸や港湾の一定区間を地元自治会や市民グループなどの団体が自主的かつ継続的に美化活動を行い、関係市町と大阪府港湾局が支援することにより、地域に愛されるきれいな海岸・港湾環境の保全に取り組むものである。</p>
参考 URL	http://www.pref.osaka.jp/kowan/fuminkyodo-kikikanri/adoptseaside.html



No. 38	関西国際空港の護岸を用いた藻場造成（大阪府） 【類型区分:ミティゲーション型】
活動内容	<p>大阪湾における海域生物の生息環境の創出に貢献するため、緩傾斜護岸に海藻類着生用消波ブロック、藻礁ブロック等を用いて藻場を造成した。</p> <p>その結果、砂泥質の海底に多年生の大型海草が主構成となる岩礁性藻場が安定的に出現した（大阪湾の藻場の約 13%に相当）。また、大阪湾の重要な生産の場となり、誕生した稚魚が大阪湾を広域的に移動、分布することが確認されている。</p>
参考 URL	http://www.fly-kix.jp/about/environment.html



No. 39	埋立地における環境創造型護岸の採用及び人工海水池の整備（兵庫県） 【類型区分:ミティゲーション型】
活動内容	<p>生物の付着基盤の形成による生態系の涵養を図るため、神戸空港島及び六甲アイランド南地区周囲の護岸を、海生生物の生息環境に配慮した環境創造型護岸（緩傾斜石積護岸）とし、浅場を広く設けることにより藻場を形成しやすい構造とした。また、空港島の西側緑地には砂浜、磯浜を含む人工海浜を設けている。</p>
参考 URL	http://www.city.kobe.lg.jp/life/access/airport/05.html



神戸空港 環境創造型護岸<イメージ図>



環境創造型護岸<実際の写真>

No. 40	赤穂海岸及び相生湾における自然再生を中心とした里海づくり事業 <モデル事業> (兵庫県) 【類型区分:流域一体型、体験型】
活動内容	<p>赤穂海岸の千種川河口干潟及び相生湾の那波港をフィールドとして、地元活動団体等の手によるアマモの増殖活動やシバナ等の塩生植物の保護・育成活動等を通じて「里海づくり」を推進するため、地域の活動団体等を構成員とする里海づくり協議会を立ち上げ、アマモ等の自然再生、海岸のごみ清掃等の実践活動を行うとともに、今後に向けた里海づくり構想の検討を行う。また、学識者による専門委員会を開催してこれら自然再生の手法、住民参加の推進手法、里海づくり構想等について検討する。</p> <p>地域における活動成果として、地域活動団体等の意識醸成を図り、実践活動に結びつつある。</p>
参考 URL	http://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/07_hyo.html



No. 41	漁業者の森づくり (兵庫県) 【類型区分:流域一体型】
活動内容	<p>豊かな漁場を維持する上で森林から供給される陸水が重要な役割を果たしていることへの認識が高まる中、漁業者の植樹活動が全国各地で展開されるようになり、「森は海の恋人」を合言葉に、兵庫県においても、漁協青壮年部及び漁協女性部の協力のもと、平成 11 年より植樹活動を開始し、平成 18 年まで県下 6 箇所まで延べ約 1,800 名の参加を得て延べ 2,000 本余りの植樹を行った。</p> <p>なお、平成 19 年度からは森の生育環境の整備のため、“植樹”から“育樹”のための間伐を行った。</p>
参考 URL	http://www.jf-net.ne.jp/hggyoren/INDEX/kanksige/kankyuu/kankyuu.htm



No. 42	“鎮守の海”としての生島周辺海域 (兵庫県) 【類型区分:鎮守の海型】
活動内容	<p>坂越(さごし)湾は瀬戸内海東部播磨灘の北西部に存在する小湾である。坂越湾奥に存在する生島(いきしま)は、全島が対岸の坂越浦にある大避(おおさけ)神社の所有になっている。生島は人が立ち入ることは禁止されているために、島内の樹木は原生樹林の状態を保っている。</p> <p>坂越浦でわずか 30 戸に過ぎない現在の漁民は、20 年前からカキ養殖に活路を見出し、坂越湾の南半分はカキ筏で満たされている。彼らは生島の鎮守の森から表流水・地下水と共にしみ出す栄養物質が坂越湾の豊かなカキを育てていると感じている。その意味では生島の原生樹林は魚付き林として、鎮守の海を支えている。なお、魚付き林の効果の科学的な解明は、今後の課題である。</p> <p>(参考文献:柳哲雄著、里海創生論、恒星社厚生閣)</p>
参考 URL	大避神社からみた生島



大避神社からみた生島

No. 43	和歌山まるごと環境教科書（和歌山県） 【類型区分：体験型】
活動内容	<p>和歌山県内の豊かな自然を実際に体験し、環境保全について考える心を育成することを目的とし、県内の自然を巡り、環境保全について学習できるエコツアーコースを作成した。各コースには語り部を登録しており、共に巡ることで深く学習することができる。コース内ではパッケージによる水質調査や、農業体験など自ら体験できるポイントがある。</p> <p>参加者アンケートによると環境保全について考えるようになったなど概ね良好な感想を得ている。</p> <div data-bbox="895 365 1350 680" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">和歌浦お散歩コースの例</p>
参考 URL	http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/032100/marugoto/index.html

No. 44	海ゴミから流域を考える「世界の宝石—瀬戸内海」を磨く（岡山県） 【類型区分：複合型】
活動内容	<p>NPO 法人グリーンパートナーおかやまは、「海ごみを回収し処理するシステム（体制づくり）」が重要であるが、「海ごみが発生しないよう発生源への対策」も必要と着目した。瀬戸内海を美しくするために、瀬戸内海流域の住民と連携し、地域と地域をネットワークしながら、「川を汚さない」「森を育てる」など、海～川～山を結ぶ流域環境の保全・再生を推進する。</p> <div data-bbox="403 1115 1331 1339" style="text-align: center;"> </div>
参考 URL	http://www.green-partner.org/index.php?umigomi2009

No. 45	広島湾・厳島神社の禁漁区（広島県） 【類型区分：鎮守の海型】
活動内容	<p>広島県の宮島にある厳島神社では、江戸時代（元禄年間）から禁漁区が沖合の海域に設定されている。現在も、鳥居の内側は禁漁区に設定されており、生き物の採捕はできなくなっている。また、生態系や景観を損なうもの（アオサ等）の除去活動が、神社やその関係者により行われている。</p> <div data-bbox="461 1720 1259 2002" style="text-align: center;"> </div>
参考 URL	

No. 4 6	やまぐちの豊かな流域づくり構想(榎野川モデル) (山口県) 【類型区分:流域一体型】
活動内容	<p>上流域の森林から下流域の干潟や海に至るまでの流域全体を捉えて、流域の住民、事業者、関係行政機関が協働・連携しながら、山口方式として流域の実情に応じた特色ある流域づくりを進めるため、「やまぐちの豊かな流域づくり構想」を作成し、推進している。</p> <p>豊かな流域づくりの一環として、河口干潟等の再生の取組を効果的に進めるには、自然再生推進法による枠組みを活用することが有効との判断から、地域住民、NPO、学識者、行政機関などで構成する「榎野川河口域・干潟自然再生協議会」をH16年8月に設立し、地域の多様な主体の参画による合意形成と、産学官民の連携・協働による取組を進めている。</p>
参考 URL	http://eco.pref.yamaguchi.lg.jp/fushino



カフトガニ

No. 4 7	森づくり活動及び海と山の連携事業 (徳島県) 【類型区分:流域一体型】
活動内容	<p>○森づくり活動 美波町では漁業者と林業者の連携で大浜海岸や離島で海岸林(マツ林)を造成する取り組みが行われている。</p> <p>徳島県と海陽町が連携し、宍喰小学校が地域産の種子の育成とその苗木を用いた水源林造成活動を行っている。</p> <p>○海と山の連携事業 間伐材を利用した魚礁作り、また、「県南の海を育てる森づくり活動」として、アオリイカの産卵礁として木の葉を利用する「しば漬け」に漁業関係者と連携して取り組んでいる。</p>
参考 URL	



しば漬け

No. 4 8	離島漁業再生支援交付金 (愛媛県) 【類型区分:漁村型】
活動内容	<p>離島における漁業の再生と水産業・漁村における多面的機能の維持増進を図ることを目的として、漁業世帯に、交付金を支給し、海岸清掃、海底清掃、種苗放流、植樹、藻場・産卵場造成等を実施している。</p> <p>一定期間継続して実施しなければ効果が十全に発現されない活動が多く、成果が直ちに現れている集落は少ないが、資源回復の有効な手段として継続して実施する機運が高まっている。</p>
参考 URL	<p>上島町 http://www.town.kamijima.ehime.jp/life/life_detail.php?lif_id=3281&task=0</p> <p>八幡浜市 http://www.city.yawatahama.ehime.jp/03jyouhou/suisan/suisan.htm</p> <p>松山市 http://www.city.matsuyama.ehime.jp/nourinsuisan/1180015_1029.html</p> <p>宇和島市 http://www.city.uwajima.ehime.jp/www/contents/1245629008018/index.html</p>



No. 49	<p>柏島周辺における啓蒙啓発・海洋資源活用の振興等の活動（高知県） 【類型区分：体験型】</p>
活動内容	<p>NPO 法人 黒潮実感センター、高知大学では、柏島を「島まるごと博物館」と捉え、住民を尊重し、人と海とが共存できる場所として存続させる「持続可能な里海づくり」を目的として、体験実感学習、住民の物産販売、海洋調査、サンゴ藻場の保全等を実施している。</p> <p>活動により、世界的に評価されるほどの海が地元にある事を子供達を含む柏島住民が認識、誇りを持って貰えたことで共に守る意識を持つ人が増加し、観光業という新たな産業の振興に寄与している。</p>
参考 URL	<p>http://www.orquesta.org/kuroshio/</p>

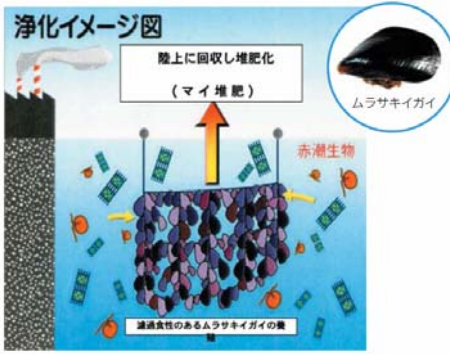



No. 50	<p>NPO 法人 有明会（福岡県） 【類型区分：流域一体型】</p>
活動内容	<p>柳川を中心に半径 50km の範囲は柳川の環境に多大な影響を直接及ぼすので、このエリアにおいて、環境保全と再生に関する事業を行い、そこに住む人たちが自らの手で行う山林の保護と河川及び有明海の再生に寄与することを目的とする。</p> <p>海苔堆肥づくり、椿油をとる数椿の森、和蠟燭をつくる櫨の森づくり、有明海での潮干狩りやタコ釣りなどの活動を行っている。</p>
参考 URL	<p>http://ariakekai.blogdekoken.jp/</p>





No. 51	<p>豊かな玄海づくり（福岡県） 【類型区分：流域一体型】</p>
活動内容	<p>松食い虫被害によって枯れた松林に抵抗性松の植栽を行い、森林の豊かな働きによって豊かな漁場の創設につなげ、もって森林のすばらしい働きを参加者と共に理解し合うことを目的としている。</p> <p>漁協役員及び青壮年部員 70 名が参加し、海岸松林内の要補色地に松食い虫に抵抗性がある「筑前スーパー黒松」苗木の植栽活動を実施した。</p> <p>参加者は、森林の豊かな働きによって豊かな漁場の創設につながることを、森林の働きについて理解できた。</p>
参考 URL	<p>http://www.pref.fukuoka.lg.jp/uploaded/life/39/39518_6764699_misc.pdf</p>



No. 5 2	ムラサキイガイを使った洞海湾の環境修復（福岡県） 【類型区分：都市型】
活動内容	<p>北九州市、国土交通省、環境科学研究所が共同で「ムラサキイガイを使った洞海湾の環境修復技術」の実証実験を行い、市民参加による環境修復手法「マイロープ・マイ堆肥」を開発した。地元小学校や環境活動団体の参加により活動が展開している。</p> <p>特殊加工した生分解性ロープに定着したムラサキイガイが海水中の窒素やリンを吸収した赤潮プランクトンを摂取し、富栄養化を防止できる。窒素やリンを吸収したムラサキイガイは陸上に回収し堆肥として活用する。</p> 
参考 URL	http://www.city.kitakyushu.jp/file/26010200/kan_keikaku/01_seisaku/h19_hakusyo/01honpen/4syo_1_3.pdf

No. 5 3	有明海・山から海まで流域一体里海づくりモデル事業 <モデル事業>（佐賀県） 【類型区分：流域一体型】
活動内容	<p>有明海佐賀県海岸をフィールドとして、有明海と人とが共生し生態系が保全され、地域づくり等にも寄与するような「里海づくり」を推進することを目的とし、以下の活動を実施した。</p> <p>(1)モデル体験活動、現地調査及び文献等調査</p> <p>①モデル体験活動 ②モデル地区の現地調査 ③モデル地区の文献等調査(水質、活動団体活動状況等)</p> <p>(2)推進体制の整備の検討</p> <p>①有明海再生ワークショップの開催</p> 
参考 URL	

No. 5 4	鹿島ガタリンピックと干潟体験（佐賀県） 【類型区分：体験型】
活動内容	<p>有明海干潟流域沿岸で「ガタリンピック」、伝統漁法体験、干潟環境教育を活用し、ブルー/グリーンツーリズムへの更なる発展を目指している。(佐賀大学・七浦地区振興会)</p> <p>修学旅行生や都市圏からの家族連れ等、年平均 13～15 千人が干潟体験に訪れている。</p>   <p style="text-align: center;">ガタリンピックの様子 伝統漁法：棚じぶ</p>
参考 URL	http://ww71.tiki.ne.jp/~nanaura/mitinoeki/taiken/taiken-hajime.htm#hajime

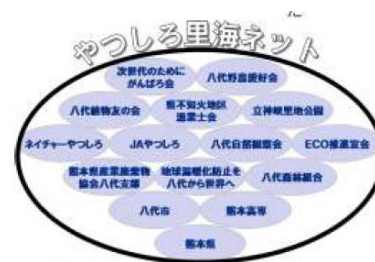
No. 55	NPO法人 コミュニティ時津（長崎県） 【類型区分:複合型】
活動内容	<p>NPO法人コミュニティ時津では、河川及び大村湾の美化・水質浄化を目的とし、「時津川のゴミ拾い」、「大村湾・時津港沿岸のゴミ拾い」、「使い捨てカイロによる河川の浄化実験」を実施している。</p> <p>河川、湾沿岸のゴミ拾いは年1回、当NPOが地域住民や企業に呼びかけ60人～80人で実施。</p> <p>「使い捨てカイロ」による浄化実験は、冬にゴルフ場が利用者に提供する使い捨てカイロを提供してもらい、これを当NPOスタッフでダンゴ状にして焼いて河川へ投入。投入作業は地域の子ども会が入る団体と一緒に実施。</p>
参考 URL	http://www.togitu.org/




No. 56	地域連携による環境学習のあり方検討事業 <モデル事業>（長崎県） 【類型区分:流域一体型】
活動内容	<p>大村湾を里海として再生を行うために、地元自治体、住民、NPO 団体等の参加のもと、スナメリの観察会をとおして環境体験のあり方の議論を深めつつ、里海として創生を図ることを目的に、以下の活動を行った。</p> <p>(1)環境学習モデル事業「スナメリウォッチング」の実施 (2)地域連携<による環境学習>のあり方検討会の実施</p> <p>地域連携のあり方検討会において、里海創生の視点である「ふれ合い」を進めるうえで、重要な役割を担う地域指導者(初等教育従事者等)から、環境学習の実施課題や必要な支援についての意見を収集することが出来た。</p>
参考 URL	http://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/07_naga.html





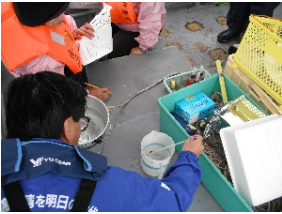


No. 57	やつしろ里海ネット（熊本県） 【類型区分:複合型】
活動内容	<p>八代市内における環境団体、行政、学識経験者で構成されるやつしろ里海ネットは、豊かな八代海を再生し、次世代に継承するため、八代海の環境と地域文化を理解し、住民、事業者、学校、環境活動団体などの協働による住民の意識啓発につなげる環境学習や交流事業その他の行動を進めることを目的としている。</p> <p>学習会および講演会の開催、各団体同士の情報交換会などを行っている。</p> <p>特に、環境活動について、その開催情報を共有し、お互いの活動に参加して勉強し切磋琢磨する。</p> <p>協働体制の構築、知識の共有、特に、環境団体同士および行政・学識などの人的交流が進められていることに大きな成果がある。</p>
参考 URL	http://www.y-satoumi.net/p/index.html




No. 58	豊前海・中津干潟のササヒビを活かした里海づくり <モデル事業> (大分県) 【類型区分:体験型】
活動内容	<p>中津市地先に現存する干潟では採貝漁業やノリ養殖が盛んであったが、近年においては、アサリをはじめとした二枚貝の資源量は減少し、ノリ養殖業も衰退している。このため、ササヒビを復活させることによりアサリ等の不漁対策につなげ、物質循環・再生を進めることにより、中津干潟の海域環境の保全・再生を図ることを目的とし、以下のような活動を実施した。</p> <p>(1)底質調査の実施 (2)海とのふれあい活動の実施 (3)干潟の勉強会の開催 (4)海の環境学習のための手引書の作成</p>
	 <p style="text-align: center;">ササヒビ</p>
参考 URL	http://www.env.go.jp/water/heisa/satoumi/07_oita.html

No. 59	伝統的漁獲規制等による資源管理 (大分県) 【類型区分:鎮守の海型】
活動内容	<p>村の最重要点施策である漁業振興のため、漁港の整備、漁礁の投入、稚魚の放流等に加え、大分県漁業協同組合姫島支店では、「漁業期節」、「期節定め」といった古来独自の資源管理規定を実施している。</p> <p>明治 19 年:漁業期節 公式記録に残る ・漁期・操業場所・漁法(制限対象魚種は 30 種・土曜休漁等)を定め資源管理。 平成 2 年:漁礁設置 平成 10 年:間伐材利用の漁礁造り開始 平成 12 年:稚魚放流事業開始 (マコガレイ・ヒラメ等 7 種) 平成 15(～24)年:高級魚種(姫島かれい等)のブランド化 平成 16～5 ヶ年:「周防灘小型機船底曳き網漁業対象種資源回復計画」 ・小型魚水揚げ制限/シャワー設備の導入/産卵親魚の保護/新休漁期間/漁具の改良/海底清掃等</p>
参考 URL	http://www.mfs.pref.oita.jp/planning/aquanews/aqu9/aqua9.htm#himesima

No. 60	漁業者による藻場造成 (宮崎県) 【類型区分:漁村型】
活動内容	<p>(延岡市須美江地区藻場造成) ウニ減少域にホンダワラ類母藻を投入して幼胚添加を行い、その後の経過観察を行った。約 3,500 m²の範囲で藻場の造成に成功した。</p> <p>(串間市毛久保地区藻場造成) ウニ除去及び再侵入防止のウニハードルを設置した区域にホンダワラ類母藻を投入して幼胚添加を行い、その後の経過観察を行った。また、経過観察中、魚類の食害が明らかとなり、防除のための囲い網の設置を行った。パッチ状に小規模な藻場が約 135 m²造成された。</p>
	 
参考 URL	

No. 61	水質保全及び生活排水対策に係る実践活動（鹿児島県） 【類型区分:複合型】
活動内容	<p>県、市、住民団体、事業者団体により、鹿児島湾奥地域生活排水対策協議会を結成し、鹿児島湾の水質環境の保全及び水辺環境の保全管理を図り、県民の生活排水対策の普及啓発を推進することを目的とし、水質保全及び生活排水対策に係る実践活動(干潟生物及びプランクトンの観察会、水質体験セミナー、環境研修会)を行っている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>水質体験セミナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>プランクトンの観察会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>環境研修会</p> </div> </div>
参考 URL	http://www.mct.ne.jp/users/k-wanoku/

No. 62	モズク養殖とサンゴ礁保全（沖縄県） 【類型区分:漁村型】
活動内容	<p>沖縄県恩納村漁協の主要産物は養殖モズクであり、漁民はサンゴ礁が健全であれば養殖モズク等の生育が良いと考えている。恩納村漁協では、赤土流出防止協議会(行政、漁協、工事関係者)による赤土流出防止対策、漁民によるオニヒトデ駆除、サンゴ礁保全など幅広い漁場保全活動を展開している。</p> <p>平成 15 年からサンゴ植え付け事業に取り組み、ホテルやダイビングショップ等と連携して、サンゴ植え付けツアー、観察ツアーなどの事業を展開している。平成 20 年からは消費者、生協と連携し、生協を通じて全国販売されるモズク等にサンゴ礁保全基金を設けている。</p> <p>このような広域・多段階の連携が恩納村漁協のサンゴ礁保全活動を支えている。</p> <p>(参考資料:柳哲雄著、里海創生論、恒星社厚生閣)</p> <div style="text-align: right;">  </div>
参考 URL	http://igetatakeuchi.co.jp/sango/see.html